

ArcGIS Pro から Portal ポータルサイトに公開できるレイヤー タイプとその格納先

| データおよびレイヤータイプ (ツールの選択項目) (※1) | レイヤー (※2) タイプ (ツールの選択項目) | 種類/名称 | レイヤー タイプ (※4) (ポータルサイト上での表記) | レイヤーのアイテムの格納先 | サービス (※3) の格納先 | サービスのデータ格納先 (ArcGIS Server が参照している場所) |
|----------------------------------|--|----------------|--|--|---|--|
| 登録済データを参照 (※6) | マップイメージ + フィーチャ (選択任意) | マップ イメージレイヤー | Map Image Layer | ポータル サイトのコンテンツ C:\arcgisportal\content\items | レイヤーの実態はサービス。 そのサービスを管理しているのは ArcGIS Server C:\arcgisserver\directories\arcgissystem\arcgisinput | データストア (RDBMS 等) (※9) |
| | | フィーチャ レイヤー | Feature layer | | | ArcGIS Data Store (※8) |
| | ベクタータイル + マップイメージおよびフィーチャ (選択必須、3点あわせて公開) | ベクター タイル レイヤー | Tile layer (ホスト) (※5) | | | データストア (RDBMS 等) (※9) |
| | | マップ イメージレイヤー | Map Image Layer | | | |
| すべてのデータをコピー (※7) | フィーチャ | フィーチャ レイヤー | Feature layer (ホスト) | C:\arcgisserver\directories\arcgissystem\arcgisinput | ArcGIS Data Store | ArcGIS Data Store |
| | | タイル | Tile layer (ホスト) (※5) | | | |
| | マップ イメージ | マップ イメージレイヤー | C:\arcgisserver\directories\arcgissystem\arcgisinput (※10) | | | |
| | ベクタータイル + フィーチャ (選択任意) | ベクター タイル レイヤー | Tile layer (ホスト) (※5) | | | ArcGIS Data Store |
| | | ホスト フィーチャ レイヤー | Feature layer (ホスト) | | | |

※1 データおよびレイヤータイプ



※2 レイヤー

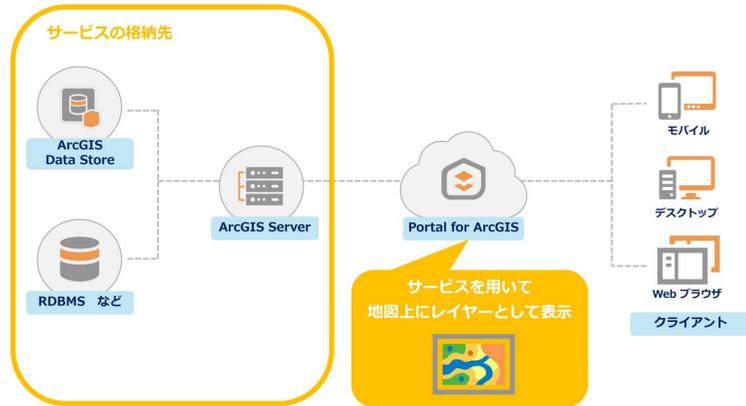
- ・サービス（マップサービスやフィーチャサービスなど）を、ポータルサイト上のマップやアプリで使用するために、マップやアプリに追加したものを。
- ・ArcGIS Server と Portal for ArcGIS の連携（フェデレート・ホスティングサーバーの登録）した、Portal for ArcGIS ポータルサイト上のマップやアプリ上で表示される「レイヤー」は、ArcGIS Server や ArcGIS Data Store、データベース（RDBMS・FGDB など）に格納されている、「サービス（レイヤーの実態）」を用いて、地図上に表示されたもの。

フェデレート [サーバーの構成—Portal for ArcGIS | ArcGIS Enterprise のドキュメント](#)

ホスティングサーバーの登録 [ホスティングサーバーの構成—Portal for ArcGIS | ArcGIS Enterprise のドキュメント](#)

RDBMS [エンタープライズ ジオデータベースと ArcGIS Enterprise—ArcGIS Server | ArcGIS Enterprise のドキュメント](#)

FGDB [ファイル ジオデータベース—ArcGIS Pro | ドキュメント](#)



※3 サービス

- ・ArcGIS Server のサービス。マップサービス（地図を配信する機能）やフィーチャサービス（地図を配信する機能+編集機能）など配信する機能。

※4 レイヤータイプ

- ・右図の赤枠の箇所から、レイヤータイプを確認可。



※5

- ・ポータルサイト上での、ベクター タイル レイヤーとホスト タイル レイヤーにおけるレイヤー タイプの表記は、両方「Tile layer (ホスト)」となるが、アイコンが異なる。

ホスト タイル レイヤー



ベクター タイル レイヤー



※6 [登録済データを参照] で公開した場合

- ・ポータルサイトへの公開後に、ArcGIS Pro 上で行ったリソースの変更が、公開したレイヤーやサービスに即座に反映される。

※7 [すべてのデータをコピー] で公開した場合

- ・ポータルサイトへの公開後に、ArcGIS Pro 上で行ったリソースの変更が、公開したレイヤーやサービスに反映されることが基本的におきない。

※8

- ・通常、[登録済データを参照] を選択して公開した場合の「サービスのデータ格納先」は、データストア（RDBMS 等）。
- ・[登録済データを参照] と [すべてのデータをコピー] のどちらを選択しても、「サービスのデータ格納先」は、ArcGIS Data Store になる仕様。
- ベクタータイルレイヤーは、ArcGIS Server と Portal for ArcGIS の連携（フェデレーション・ホスティング）を行った、ポータルサイト上ではじめて、利用することができるレイヤー。
- ベクタータイルレイヤーは、レイヤーの中でも比較的最近登場したレイヤーであるため、他のレイヤーと仕様が異なる。
- ・RDBMS に格納していたレイヤーを、ベクタータイルレイヤーとして、公開（登録済データを参照）しても、ArcGIS Pro 上で行ったリソースの変更が、公開したレイヤーやサービスに反映されない仕様。

※9 RDBMS

格納先の選定

- ・エンタープライズ ジオデータベース
- ・マップ イメージ レイヤーのみ参照して公開したい場合、リソースのデータが、RDBMS 以外のファイル ジオデータベースやローカルフォルダに格納されている状態でも、ポータル サイトへ公開できる。

※10

- ・「ホスト」が見つからない「マップ イメージ レイヤー」として公開されるので、「サービスのデータ格納先」は、ArcGIS Data Store ではない。
- ・「ホスト レイヤー」に属している「ホスト マップ イメージ レイヤー」を公開したい場合は、下記リンク先の手順を実施。

[ホスト Web レイヤーの Web フィーチャ レイヤーからの公開—ArcGIS Pro | ドキュメント](#)